

真龍小便利



真龍小学校の子ども

元気な顔
元気な心
元気な体



平成29年4月28日発行 No. 3

5月のこよみ

教わればできるという迷信

校長 武田 昌彦

子ども達も教職員も気持ちを新たにして平成29年度がスタートし、約3週間が過ぎました。最初はまだ落ち着きがなかった1年生も学校の生活に徐々に慣れ、入学当初から見ると随分と成長の跡を感じます。先日も学校内を探検し、校長室まで来ました。おどおどした姿はみじんもなくすっかり真龍小学校の一員となっていました。

「立場が人を育てる」という言葉がありますが、1年生を迎えた2年生、最上級生になった6年生、それぞれに大人になったのではないのでしょうか。一人ひとりがこの進級を節目に、より大きく逞しく豊かに成長してくれることを願っています。

さて、タイトルに書きましたが、子ども達に「勉強は誰がするのでしょうか。」と質問するとしましょう。あたりまえの質問ですからきっと「勉強する人がやるのに決まっている。」と答えるでしょう。口ではそのように言いますが、本当に分かって答えているのでしょうか。学力は主体的に勉強したときしか、つきようがないのです。

勉強は自分で問題を解く力を身につけていくことです。しかし、多くの人は勉強の仕方を教わるのではなく、問題の解き方を教わろうとします。親切丁寧に問題の解き方を教えると「よくわかる」と言い喜ぶますが、自分の頭はさほど使ってはいません。試行錯誤の中から解決法を獲得したときに、頭をより使っているのです。でも、人はめんどうですからすぐ楽をする方をとってしまいがちです。「分かる」ということと、「できる」ということは全く次元が異なった問題です。分かってもできるとは限らないのです。

色々な学校で保護者の方から学習についていろいろな話を聞きますが、話の行き着くところはほとんどが家庭学習の不足についてです。子ども達自身、何をやったらいいのかわからないのかも知れません。子ども達は「宿題はやるけど宿題がないと……。」とよく言います。ですから、家でも学校でも次の3つのことを心がけてほしいのです。

- ① 今はできるまで努力をする。
- ② 毎日続けてやる。
- ③ 勉強の仕方を身につけるために授業に参加する。

以上のことを心がけ、実行できるよう努力してほしいのです。教わればできるのではなく、やらなければできるようにはならないのです。

日	曜	行事
1	月	家庭訪問⑥
2	火	家庭訪問⑦
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
6	土	
7	日	
8	月	朝会(講話) 第2回PTA役員会
9	火	生きがい大学 QU実施(~11日)
10	水	1年生5時間授業開始 運動の日 第1回PTA専門部会(19:00~)
11	木	尿検査1, 2年
12	金	特別日課 委員会②
13	土	
14	日	
15	月	内科検診6年
16	火	情報館読み聞かせ 内科検診5年 尿検査3, 4年
17	水	職員会議 避難訓練(火災) 内科検診4年
18	木	尿検査5, 6年 避難訓練(予備日)
19	金	特別日課 児童総会
20	土	
21	日	
22	月	町研5月研究大会(真小)
23	火	内科検診2年
24	水	街頭指導 内科検診1年
25	木	
26	金	遠足 町P連定期総会
27	土	
28	日	
29	月	特別日課
30	火	内科検診3年
31	水	

1年生 42名入学



4月6日に新1年生を迎え、平成29年度の入学式を行いました。校長先生から「あいさつは相手も自分も幸せにする魔法の言葉です。」「あいさつは、いつも笑顔で自分から。」という願いをされていました。また、来賓の方やたくさんの方から祝辞・祝電をいただきました。2年生から歓迎の言葉や歌が贈られると、うれしそうに身を乗り出して聞き入っていました。教室では、担任の先生から配られた新しい教科書を見て、早く勉強したいという意欲で満ちあふれていました。今年度は42名の新1年生が加わり、全校児童262名の前期がスタートしました。



少人数・通級指導始まる

算数の少人数指導と国語・算数の通級指導がすでに始まっています。

少人数指導は、算数の基礎・基本をしっかりと身につけていけるように、2年生以上で実施していきます。子どもが苦手な計算をじっくりと学べたり、算数の思考力を高めたりしやすい環境を整えながら指導していきます。本年度も、少人数担当は小川衛先生です。できた喜びや達成感をもたせ、学習意欲が高まる授業を進めていきます。

通級指導教室では、学習に苦手感をかかえる子どもを対象に、専任の教員が少人数で指導を行います。算数の学習の仕方（学び方）を中心に、必要に応じて国語も指導します。本年度は、大山織絵先生、上平翔太先生です。

体育専科の藤井先生に聞く

今年度は『わかる・できる・楽しい』をテーマに、全校児童と体育の学習を進めていきます。

授業の中では、「子どもの姿」として、以下3点を大切に指導していきます。

- ①汗をかく子ども（運動量の確保）
- ②協力する子ども（人間関係の構築）
- ③解決する子ども（問題解決力の育成）

真龍小学校の課題である全身持久力の向上にむけて、体育や休み時間に縄跳び運動を行っています。（また、保護者の皆様には徒歩通学へのご協力をお願いいたします。）

土曜授業始まる

昨年度から始まった土曜授業が22日に行われました。授業参観日と合わせて実施したので、たくさんの保護者の方に参観していただきました。教室では、子ども達が落ち着いた環境で、先生の話や友達の話のしっかりと聞く姿をたくさん見ることができました。



自転車の運転 気をつけて！

4月13日に解禁されたばかりの自転車の運転ですが、すでに、真龍小学校の児童で2件のけがの報告が届いています。家庭訪問週間やゴールデンウィークも始まり、子ども達の外遊びも増えるので、例年、子ども同士のトラブルや、事故も増える時期です。

学校では、「自転車は遊び道具ではない」ということを指導しておりますので、保護者の皆様にも、共通の視点に立ってご指導していただくと大変ありがたいです。

